

(参考様式 6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
二宮地区活性化計画 改善計画書

令和 5 年 9 月 29 日作成

都道府県名	計画主体名	地区名	計画期間	実施期間
栃木県	真岡市	二宮地区	平成 30 年度～ 令和 4 年度	平成 30 年度～ 令和元年度
事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体	
地域連携販売力強化 施設	実施設計 一式 直売所 805.32 m ²		真岡市	

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値 A	実績値 B	達成率 (%) B / A	備考
交流人口の増加	60,707 人	-389,833 人	-642%	

2 効果の発現状況及び目標が達成されなかった要因

新型コロナウイルス感染症による行動制限やイベント等の自粛による観光入込客数の減少が要因と考えられる。

栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査結果における真岡市の観光客入込数では、令和 2 年 1,784,577 人、令和 3 年 1,579,223 人、令和 4 年 1,952,912 人となり、増加傾向ではあるが、新型コロナウイルス感染症蔓延前の令和元年の 3,177,751 人と比較すると、61.4% (R4/R1) と厳しい状況にある。

- ※ 効果の発現状況については、目標の達成に直接関係するものだけでなく、事業実施によって生じた地域の変化（取組への参加や話合いの回数）等についても記載すること。
- ※ 要因分析に当たっては、事業実施に係る要因と事業を取り巻く環境要因に分けて記載すること。環境要因については、社会経済動向、関連する施策の状況、実施地区を含む地域全体の動向等の考えられる要因を具体的に記載するとともに、事業実施地区における過去の指標の推移によるトレンドの把握や事業実施地区を含む地域全体や近隣地区における指標の推移との比較等により、事業実施による効果及び目標が達成されなかった要因を適切に分析すること。

3 目標達成に向けた方策

目標達成予定年度	令和7年度
事業の推進体制	株式会社二宮金次郎商店、真岡市、グリーンツーリズム推進団体、各イベント実行委員会等の関係機関が連携して交流人口の増加を目指す。
具体的取組方策	イチゴをはじめとした農産物の情報発信により更なる集客強化するとともに、グリーンツーリズム事業や農泊事業と連携を図ることで、本市の魅力を実感してもらい、交流人口の増加につなげる。 また、各関係機関が実施する地区を代表するイベント等との連携し、地区内の活性化を図るとともに、観光客入込数の増加を図る。

4 改善計画に対する第三者の意見

<p>(コメント)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の第5類への見直しにより、アフターコロナの後押しもあり、道の駅やイベントなどの来場者数は増加傾向となっている。上記の取組みを実施することで目標は達成されると思うので、引き続き頑張ってください。</p> <p style="text-align: right;">JAはが野真岡いちご部会部会長兼二宮支部長 荻田 聡</p>

※ 第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。